



事実、ヨーロッパでは中世の音楽といえば教会音楽を指しているし、多くの地域で集団農作業や祭事においては歌と器楽が基本となっていることが共通している。ルネサンス期（1450～1600年頃）になると音楽はより豊かになり、複数の旋律を重ねる対位法が発展す

さて、最初の問いに戻りたいと思う。音楽はなぜ「心」に響くのか。音楽では、人間の喜怒哀楽が音に託されて表現されている。同じ音楽を聴いていても、聴き手の情動や精神状態によって異なった感情を湧き上がらせることがある。音楽は不思議である。

(小野 稔)

広告申込所：☎113-0033 東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル6階 文京メディカル 電話03-3817-8036